

作成日：1997年07月01日

改訂日：2016年03月09日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：セメダイン PPX

製品番号(SDS NO)：GJ0035-10

供給者情報詳細

供給者：セメダイン株式会社

住所：東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー

担当部署：環境安全衛生部

電話番号：03-6421-7413

FAX：03-6421-7416

緊急連絡先電話：03-6421-7413

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体：区分 4

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び刺激性：区分 2

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：区分 2B

皮膚感作性：区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 3(気道刺激性)

環境有害性

環境有害性：該当せず/分類対象外

(注)記載なきGHS分類区分：該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：警告

危険有害性情報

可燃性液体

皮膚刺激

眼刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

物理的及び化学的危険性

高温になると引火、燃焼する恐れがある。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：

混合物

化学的特定名：シアノアクリレート系接着剤

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号
2-シアノアクリル酸エチル	90-100	7085-85-0	2-2789

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

2-シアノアクリル酸エチル

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

2-シアノアクリル酸エチル

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。

多量の水と石鹸で優しく洗う。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

気道が塞がれていないか確認する。異常がある場合は直ちに医師の診察を受ける。

唇が接着された場合は、無理に剥がさないこと。(通常は唾液により数時間後に自然にはがれます。)

応急措置をする者の保護

状況に応じて適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

危険を避けられれば燃焼源の供給を止める。

消火を行う者の保護

防火服/防災服/耐火服を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

皮膚に触れたり眼に入らないように、不浸透性手袋などの保護具を着用する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策

全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

(火災・爆発の防止)

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。

注意事項

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

一度使用した液は容器に戻さないこと。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

火気厳禁。密閉して、湿気の少ない冷暗所に保管する。

容器包装材料

製品用に安全が認められた容器のみを使用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

許容濃度

(2-シアノアクリル酸エチル)

ACGIH(1995) TWA: 0.2ppm (上気道および皮膚刺激)

ばく露防止

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状態

形状：液体

色：無色～淡黄色透明

臭い：刺激臭

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点：54-56(2-シアノアクリル酸エチル)°C

引火点：(2-シアノアクリル酸エチル)75°C

自然発火温度：485(2-シアノアクリル酸エチル)°C

爆発特性：引火又は爆発範囲

下限：1.7(2-シアノアクリル酸エチル) vol %

比重/密度: 1.040 (20°C) (2-シアノアクリル酸エチル) g/cm³

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

水、塩基性物質などとの接触、混入あるいは高温、高湿、直射日光により、発熱を伴い、急速に重合することがある。

避けるべき条件

高温、高湿、直射日光、混触危険物質との接触。

混触危険物質

酸、アルカリ、過酸化物、酸化剤、還元剤

危険有害な分解生成物

燃焼により、CO₂、CO、NO_x、シアン化物等を発生するおそれがある。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性データなし

局所効果

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(2-シアノアクリル酸エチル)

ラビット 1週間後に回復 (CICAD, 2001)

皮膚感作性

[日本公表根拠データ]

(2-シアノアクリル酸エチル) cat.1; human : CICAD, 2001

生殖細胞変異原性データなし

発がん性データなし

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(2-シアノアクリル酸エチル) 気道刺激性 (ACGIH, 2001)

吸引性呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性
水生毒性データなし
残留性・分解性データなし
生体蓄積性データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

空容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に処分する。廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号に該当しない

特別の安全対策

容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、破損がないように取扱い、荷崩れの防止を確実にを行う。
消防法、船舶安全法などの法令の定めるところに従う

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
労働安全衛生法

名称表示危険/有害物(令18条)

2-シアノアクリル酸エチル

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9)

2-シアノアクリル酸エチル

消防法

第4類 引火性液体第3石油類非水溶性 危険等級 III

化審法に該当しない。

廃棄物処理法

特別管理産業廃棄物: 特定有害産業廃棄物

2-シアノアクリル酸エチル

土壌汚染対策法

第二種特定有害物質 重金属等

2-シアノアクリル酸エチル

水質汚濁防止法

有害物質

2-シアノアクリル酸エチル

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
JIS Z 7253 (2012年)
Supplier's data/information

責任の限定について

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。
2016年6月1日改正の労働安全衛生法に則して作成されたものです。ただし、有害性情報につきましては、現時点における弊社の最善の知識をもって、通常可能な範囲で調査した結果に基づくものです。
2016年6月1日以降、変更の可能性がある場合には、最新の情報に基づき作成する予定にしております。

作成日：2000年04月27日

改訂日：2016年01月26日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：セメダイン プライマーPPX-3

製品番号(SDS NO)：GJ0110-10

供給者情報詳細

供給者：セメダイン株式会社

住所：東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー

担当部署：環境安全衛生部

電話番号：03-6421-7413

FAX：03-6421-7416

緊急連絡先電話：03-6421-7413

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

【GHS分類】

物理化学的危険性	: 引火性液体	区分 2
健康に対する有害性	: 急性毒性(経口)	区分外
	: 急性毒性(経皮)	区分外
	: 急性毒性(吸入:蒸気)	区分外
	: 皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分 2
	: 眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性	区分 2B
	: 発がん性	区分外
	: 特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分 3(気道刺激性、麻酔作用)
環境に対する有害性	: 吸引性呼吸器有害性	区分 1
	: 水生環境有害性(急性)	区分 1
	: 水生環境有害性(長期間)	区分 1

* GHS分類の判定区分が分類対象外及び分類できない項目に該当する危険有害性は省略。

【GHSラベル要素】

絵表示：



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 引火性の高い液体及び蒸気

- ・皮膚刺激
- ・眼刺激
- ・呼吸器への刺激のおそれ、眠気およびめまいのおそれ
- ・飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
- ・長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き :〔安全対策〕

- ・熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙
- ・容器を接地すること/アースをとること。
- ・防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
- ・火花を発生させない工具を使用すること。
- ・静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- ・保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入をしないこと。
- ・取扱い後は暴露又は暴露の懸念のある部分をよく洗うこと。
- ・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・環境への放出を避けること。

:〔応急措置〕

- ・飲み込んだ場合は、口をすすぐこと。吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。
- ・皮膚(または髪)に付着した場合は、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
- ・皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
- ・汚染された衣類を再利用する場合には洗濯をすること。
- ・吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- ・気分が悪い時は、医師に連絡すること。診断/手当てを受けること。
- ・火災の場合は、消火に適切な消火器(粉末・泡・二酸化炭素)を使用すること。
- ・漏出物を回収すること。

:〔保管〕

- ・容器を密閉しておくこと。
- ・涼しく換気のよい場所に保管すること。
- ・施錠して保管すること。

:〔廃棄〕

- ・内容物及び容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 :混合物質

化学的特定名 :シアノアクリレート系接着剤用プライマー

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号
n-ヘプタン	90-100	142-82-5	(2)-7
アミン化合物	1-5	非公開/未登録	非公開/未登録

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

労働安全衛生法「表示すべき有害物」に該当する成分

n-ヘプタン

労働安全衛生法「通知すべき有害物」に該当する成分

n-ヘプタン

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。

皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

水で口をすすぐこと。

無理に吐かせないこと。

直ちに医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護

救助者は状況に応じて有害物質に触れないよう手袋やゴーグル、マスクなどの適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

泡、二酸化炭素、粉末

使ってはならない消火剤

棒状注水

特有の危険有害性

極めて燃えやすい。熱、火花、火炎で容易に発火する。

燃焼によりNO₂、CO等の有害性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。

消火を行う者の保護

適切な保護具(保護手袋、保護眼鏡、保護衣、有機ガス用防毒マスク、空気呼吸器等)を着用して消火作業を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業者は適切な保護具を着用して作業を行い、ガスの吸入や眼、皮膚への接触を防止する。

密閉された場所に入る前に換気する。

環境に対する注意事項封じ込め及び浄化の方法・機材

環境への流出防止を図り、環境へ影響を起こさないようにする。

保護具を着用し、少量の場合、ウェス、布、吸油マット等に吸着させて密閉できる空容器に回収する。

大量の場合、盛土で困って流出を防ぎ、安全な場所に導いてから回収処理を行う。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策

「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の保護具と換気を行う。

局所排気・全体排気

「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気・全体排気を行う。

安全取扱注意事項

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

技術的対策

直射日光や火気を避け、危険物を貯蔵する為に必要な通常の採光、照明及び換気の設備を設けること。

混触禁止物質

「10. 安全性及び反応性」に記載の混触危険物質と同一の場所に置かない。

保管条件

密閉して湿気の少ない冷暗所に施錠して保管する。

容器包装材料

消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 設定されていない

許容濃度 日本産業衛生学会(2010年版) OEL 200ppm(n-ヘプタン)

ACGIH(2010年版) TWA 400ppm(n-ヘプタン)

STEL 500ppm(n-ヘプタン)

設備対策 空気中の濃度を管理濃度/許容濃度以下に保つために局所排気装置等の適切な換気装置を設置する。この物質を取扱う作業場付近に手洗い、洗眼器、安全シャワー等を設置する。

保護具

呼吸器の保護具 保護マスク(有機ガス用防毒マスク、空気呼吸器等)

手の保護具 保護手袋(ゴム手袋、不浸透性保護手袋等)

眼の保護具 保護眼鏡(側板付き保護眼鏡、ゴーグル型保護眼鏡等)

皮膚及び身体の保護具 遮顔面、不浸透性の保護衣、ゴム前掛け、保護長靴等

9. 物理的及び化学的性質

本製品についての環境影響情報はないが、成分のn-ヘプタン、アミン化合物については引用文献(1)の情報から引用する。

物理的形態、形状、色 : 無色～淡褐色透明液体

臭い : 特異臭

pH : データなし

融点/凝固点 : -91°C(n-ヘプタン)

沸点、初留点及び沸点範囲 : 98°C(n-ヘプタン)、210°C(アミン化合物)

引火点 : -4°C(n-ヘプタン)、81°C(アミン化合物)

爆発範囲 : 下限 1.05vol%、上限 6.7vol%(n-ヘプタン)

蒸気圧 : 45.6mmHg/25°C(n-ヘプタン)

蒸気密度(空気=1) : 3.46(n-ヘプタン)

比重(相対密度) : 0.684/20/4°C(n-ヘプタン)、0.806/25°C(アミン化合物)

溶解度 : 水に不溶。アルコール、エーテルに可溶。

オクタノール/水分配係数 : log Kow = 4.66(n-ヘプタン)

自然発火温度(発火点) : 285°C(n-ヘプタン)、180°C(アミン化合物)

分解温度 : データなし

10. 安定性及び反応性

安定性 : 一般的な貯蔵・取扱いにおいて安定である。
 危険有害反応可能性 : 強酸化剤と激しく反応し、火災、爆発の危険性をもたらす。
 避けるべき条件 : 火花、炎、高温、静電気、直射日光及び混触危険物質との接触
 混触危険物質 : 酸化性物質、過酸化水素等
 危険有害分解生成物 : 燃焼により NO_x、CO_x 等を発生するおそれがある。

11. 有害性情報

本製品に関する有害性情報はないが、成分であるn-ヘプタンについては、引用文献(1)の情報から、又、アミン化合物に関しては(1)(2)の情報から引用する。

急性毒性(経口): マウス LD₅₀ 5,000 mg/kg(n-ヘプタン)
 ラット LD₅₀ 297 μl/kg(アミン化合物)
 急性毒性(経皮): ウサギ LD₅₀ 3,000mg/kg(n-ヘプタン)
 ウサギ LD₅₀ 492 μl/kg(アミン化合物)
 急性毒性(吸入:蒸気): ラット LC₅₀ 25,184ppm/4h (n-ヘプタン)
 ラット LCL₀ 410mg/m³/4H(アミン化合物)
 皮膚腐蝕性及び皮膚刺激性:
 ヒトに対して皮膚刺激性が認められる。(n-ヘプタン)
 強い刺激性。炎症や薬傷を起こす。
 ラット 500 μl SEV (アミン化合物)
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:
 眼に強い刺激性。眼に入ると失明のおそれがある。
 ラット 5 μl SEV (アミン化合物)
 発がん性: EPA で D に分類。(n-ヘプタン)
 特定標的臓器毒性(単回暴露)
 ラット又はマウスを用いた吸入暴露において麻酔作用及び気道刺激性が認められた。
 ヒト暴露例において中枢神経抑制や粘膜刺激性が認められた。(n-ヘプタン)
 特定標的臓器毒性(反復暴露):
 実験動物およびヒトともに分類できる情報は得られていない。(n-ヘプタン)
 吸引性呼吸器有害性: 炭化水素であって動粘性率の計算値が 20°Cで 0.61mm²/sec であることにより
 区分1とした。(n-ヘプタン)

12. 環境影響情報

本製品についての環境影響情報はないが、成分のn-ヘプタン、アミン化合物については引用文献(1)の情報から引用する。

生態毒性 : 甲殻類(ミッドシュリンプ) 96 時間 LC₅₀ 0.1mg/L (n-ヘプタン)
 残留性/分解性 : 分解性が良好と判断される物質(通産省公報 1996.12.27)(n-ヘプタン)
 難分解性であるが高濃縮性ではないと判断される物質(経済産業公報 2005.12.22)
 (アミン化合物)
 生体蓄積性 : log Kow = 4.66 (n-ヘプタン)
 土壌中の移動性 : データなし
 オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

「7. 取扱い及び保管上の注意」の項に記載の注意事項に従うこと。

廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託すること。

汚染容器及び包装

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国際規制

IMDG(国際海上危険物規則)コード

国連番号 : 1993
 国連輸送名 : その他の引火性液体(アミン化合物を含む n-ヘプタン)
 国連分類 : 3
 容器等級 : II

ICAO-TI(国際民間航空機関技術指針)

国連番号 : 1993
 国連輸送名 : その他の引火性液体(アミン化合物を含む n-ヘプタン)
 国連分類 : 3
 容器等級 : II

国内規制

陸上輸送 : 消防法の規定に従った、容器・包装、表示、積載・輸送方法により輸送を行う。
 海上輸送 : 船舶安全法に定められている輸送方法に従う。
 航空輸送 : 航空法に定められている輸送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件:

「7. 取扱い及び保管上の注意」の項の記載による他、引火性液体に関する一般的な注意事項に従うこと。火気厳禁とする。輸送前に容器が密閉され、漏れのないことを確かめ、転倒、落下損がないように積載すること。荷崩れの防止を確実に行う。収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等表示すべき有害物 法第 57 条 1、施行令第 18 条(ヘプタン) 名称等通知すべき有害物 法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2(ヘプタン)
危険物・引火性の物	施行令別表第1第4号 (ヘプタン)
化学物質管理促進法	該当しない
消防法	第4類第1石油類 危険等級 II (非水溶性) (n-ヘプタン)
毒物及び劇物取締法	該当しない

16. その他の情報

引用文献

- 1)製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム
- 2)アミン化合物製造者 製品安全データシート
- 3)日本産業衛生学会(2010年版)
- 4)ACGIH (2010年版)
- 5)JIS Z 7253 (2012)
- 6)JIS Z 7252 (2009)

責任の限定について

ここに記載されたデータは最新の知識および経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

十分な情報が得られなかった成分については、全ての項目を分類できないとしております。

2016年6月1日改正の労働安全衛生法に則して作成されたものです。ただし、有害性情報につきましては、現時点における弊社の最善の知識をもって、通常可能な範囲で調査した結果に基づくものです。

2016年6月1日以降、変更の可能性がある場合には、最新の情報に基づき作成する予定にしております。